

部長会議付議事案書（報告）

（令和7年1月6日）

提案課名 行政経営課 公園課 文化振興課 スポーツ推進課 こども育成課
 報告者名 櫻井秀樹 北村正臣 小泉誠 北口慶太 長島秀樹

事案名	指定管理者の令和7年度事業計画について	有 資料 無
提案趣旨	令和4年度から指定管理者制度に移行したカルチャーパーク及びおおね公園、文化会館、はだの丹沢クライミングパークに加え、令和5年度から移行した表丹沢野外活動センターについて、令和7年度の事業計画を広く市民に公表するものです。	
概要	1 各施設の指定管理者 (1) カルチャーパーク及びおおね公園 ミズノグループ (2) 文化会館 みんなの文化会館はだのパートナーズ (3) はだの丹沢クライミングパーク 神奈川県公園協会・小田急電鉄共同事業体 (4) 表丹沢野外活動センター MGMグループ 2 対象年度 (1) 上記施設 (1) から (3) 令和4年度から8年度までの指定管理期間のうち4年度目 (2) 上記施設 (4) 令和5年度から9年度までの指定管理期間のうち3年度目	
経過	1 上記施設 (1) から (3) 令和4年 4月 各施設で指定管理者による管理運営の開始 〃 11・12月 各施設における利用者アンケート実施（ミズノグループ、みんなの文化会館はだのパートナーズ、県公園協会・小田急電鉄共同事業体） 令和5年 4月 各施設で指定管理者による令和4年度事業報告書の作成及び自己評価の実施 〃 5・6月 各施設施設所管課による内部評価の実施 〃 8月 各施設選定評価委員会による外部評価の実施 令和6年 3月 市ホームページで令和6年度事業計画書を公表 〃 7月 各指定管理者の令和5年度事業報告書を部長会議等で情報共有し、市議会議員に情報提供	

経過	2 上記施設 (4) 令和5年 4月 指定管理者による管理運営の開始 〃 4月～ 利用者アンケートの実施 令和6年 3月 市ホームページで令和6年度事業計画書を公表 〃 7月 各指定管理者の令和5年度事業報告書を部長会議等で情報共有し、市議会議員に情報提供 〃 8月 選定評価委員会による外部評価の実施
今後の進め方	令和7年 3月 市ホームページで令和7年度事業計画書を公表 〃 7月 各指定管理者の令和6年度事業報告書を部長会議等で情報共有し、市議会議員に情報提供

令和7年度指定管理者における新規・拡充事業について

	施設名	指定管理期間	令和5年度実績に対する外部評価	新規・拡充事業
1	カルチャーパーク及びおおね公園 【指定管理者:ミズノグループ】	令和4年度 ～ 令和8年度	良好	【新規事業】 ・低稼働の時間帯を活用したスポーツ教室の実施(おおね公園プール、カルチャーパーク水泳プール) ・夏季限定でキッチンカーの出店(カルチャーパーク) 【拡充事業】 ・「中学部活動の民間移行(有料)」への対応 ・低稼働時間帯の貸し出しの検討(陸上競技場など)
2	文化会館 【指定管理者:みんなの文化会館 はだのパートナーズ】		概ね良好	【新規事業】 ・他の指定管理施設(富士見の湯)と連携したアウトリーチ型事業の実施 【拡充事業】 ・小中学校や公民館への訪問事業の実施 ・タウンニュース等を活用したプロモーション強化(利用団体のイベント周知、再開館に向けて利用団体や企業への訪問等)
3	はだの丹沢クライミングパーク 【指定管理者:県公園協会・ 小田急電鉄共同事業体】		良好	【新規事業】 ・日本山岳・スポーツクライミング協会(JMSCA)の次世代アスリート育成プロジェクトへの協力 【拡充事業】 ・広報活動の充実 ・山岳スポーツセンター及び秦野ビジターセンターとの連携
4	表丹沢野外活動センター 【指定管理者:MGMグループ】	令和5年度 ～ 令和9年度	良好	【新規事業】 ・レンタル品による過ごし方の選択の充実 ・キッチンカーの試験導入 ・地域食材を使用したイベントの検討 ・宿泊棟のクッションマットを井草畳へ変更 【拡充事業】 ・ソロキャンプ場エリア再整備 ・いろいろ棟屋外スペースの拡充及び室内の空調設備増設 ・いろいろ棟宿泊利用券をふるさと納税の返礼品に追加 ・体験イベント内容の充実 ・携帯電波改善を目的としたキャリアとの調整

※「令和5年度実績に対する外部評価」は、「大変良好」、「良好」、「概ね良好」、「要改善」の4段階

秦野市カルチャーパーク及び 秦野市立おおね公園

令和 7 年度事業計画書

令和 6 年 10 月 31 日

指定管理者：ミズノグループ

令和 7 年度 事業計画書

目次

1. 管理運営の基本方針
 - ・ 管理基本方針
2. 利用者への支援計画
 - ・ 利用しやすい施設運営
 - ・ 平等な利用方法
 - ・ 利用者の相談、苦情等への対応
3. 施設利用の促進方法
 - ・ 新たな施設の有効活用方法・利用者増加の工夫
 - ・ 利用者サービス向上に向け工夫
4. 安全管理・事故防止
 - ・ 利用者の安全確保や秩序の維持
 - ・ 事故の未然防止や防災防犯に配慮
5. 地域協働
 - ・ 地域住民や公益財団法人秦野市スポーツ協会等の団体との連携や協働
6. 自主事業の実施計画
 - ・ 独自の特色ある事業
 - ・ 誰もが参加しやすい創意工夫
 - ・ 利用者への公平性について考慮
7. 広報計画・研修計画
 - ・ 利用促進効果のある広報計画
8. 市内事業者の活用
 - ・ 市内事業者の活用

1. 管理運営の基本方針

①管理基本方針

- 本施設の設置目的『文化、教養、スポーツ及びレクリエーションの場を一体的に市民及び滞在者に提供することにより公共の福祉を増進し、持続可能で活力のあるまちづくりに役立てること』『都市公園法に基づく都市公園として、公共の福祉に資すること』を踏まえ、人と人、地域をつなぎ、そして未来につないでいくという意味で、「NEXT」をコンセプトとしました。
- 設置目的や市の考え方を踏まえ、すべての市民の心と身体健康増進、交流づくりと地域との協働運営、当グループの知見を活かした魅力あるサービス、安全安心な環境を提供します。

市の新たな未来（NEXT）を切り拓き、市民の夢や賑わいを生み出すスポーツ・交流づくりの地域コミュニティ拠点「NEXT パーク秦野」の実現

・健康・元気づくり

・サービス向上で快適な環境づくり

・地域交流・協働づくり

・地域の安全安心づくり

- 下記3点を当グループのコミットメント（約束事）とて宣言します。

宣言① 新たな利用促進策を導入し、年間利用者数 31 万人達成

宣言② 新たな利用サービス策を導入し、毎年の利用者満足度調査で良いを90%以上獲得

宣言③ 体育施設管理士等資格者の配置や定期的な安全研修により、毎年重大事故0を実現

- 本公園は、地域住民にとって健康活動、憩い、やすらぎ、コミュニティ作り、災害避難場所など様々な機能を担っており、この機能を最大限活かせる公園環境を提供します。
- 地域祭りイベント応援、地産品販売マルシェや地域住民の健康交流イベント等積極的に取り組んでいきます。
- 秦野市や市スポーツ協会が推進している市民マラソン大会や各種スポーツ教室等スポーツ振興事業に協力し、市民の健康づくりや交流づくりに貢献します。

【管理運営体制】

項目	企業名	役割
代表企業	ミズノ ^(株)	統括管理・運営業務
構成企業	ミズノスポーツサービス ^(株)	運営業務、秦野市総合体育館受付業務
構成企業	東海体育指導 ^(株)	カルチャーパーク中央運動公園・秦野市立おおね公園の運営業務
構成企業	コナミスポーツ ^(株)	秦野市総合体育館トレーニングルーム運営業務
構成維持管理	^(株) オーチュー	維持管理業務

2. 利用者への支援計画

①利用しやすい施設運営

- 定期的（年1回以上）に利用者アンケートを実施します。
- 外部専門員が電話対応などを抜き打ちで調査し、チェック改善指導を行います。
- 案内サインの変更として、総合体育館内の案内サインは、「誰にでも分かる表示」とし、また公園内に点在されている更新後の案内板には受付場所がどこにあるのかを明記します。
- 本施設専用のホームページを随時更新し、より見やすいようにしていきます。
- 「ラケット」「ビブス」「シューズ」の貸出しを行います。
- 熱中症対策として、テントや発泡クーラーボックスに入れた氷を無料で貸出します。
- 体育館ロビーの「フリーWiFi」を利用可能にします。
- 総合体育館1階の休憩スペースを拡大します。

②平等な利用方法

- インターネット予約だけではなく、施設の受付窓口での利用予約や電話での空き状況の確認にも対応します。
- 市およびスポーツ協会等と連携し、特定の団体を優遇しない偏りのない「利用調整会」を行います。
- 混雑状況について、一般利用者向けに、大会・イベント等の利用予定を明確にし、事前にホームページや館内の掲示板で告知します。
- 受付には耳マークを掲示し、耳の不自由な方には筆談などでコミュニケーションを図ります。
- 外国人の利用に向け、サインや利用ルール・注意等の案内表示は多言語表記し、外国人にもやさしい案内を行い総合体育館受付には翻訳機も常設します。
- 高齢者向けに老眼鏡や靴箱前にいすや靴べらを用意するなど配慮します。
- LGBTの方からご相談を受けた際には、更衣には多目的更衣室をご案内する等、可能な限り、相手に寄り添った対応を行います。

③利用者の相談、苦情等への対応

- 「ご意見箱」「メール」から、常に利用者からの相談や苦情を収集できるようにします。
- スマートフォンからアンケート（WEBアンケート）を収集する方法を取り入れます。
- ミズノ独自のリスクマネジメントデータベースに蓄積した年間約500件の報告・対応策を参考に事故・トラブルの未然防止を図ります。
- 苦情・要望の申し出においては、一次対応者は、誠心誠意、苦情・要望の内容を聞き、迅速に対応し、一次対応者は、統括責任者（不在の場合は副責任者）にすぐその内容を報告し、施設の目的・理念・利用マナーなどを分かりやすく丁寧に説明した上で真摯に言い訳をせずよく話し合います。また、スタッフ全員が情報を共有し、問い合わせがあった場合に即座に対応できるようにします。
- 現地スタッフでの解決が困難な場合は、速やかに報告書を作成し市へ報告するとともに、ミズノ本社の専門員と連携をはかり迅速に対応します。

3. 施設利用の促進方法

①新たな施設の有効活用方法・利用者増加の工夫

【体育館の利用率向上策】

- 空き場所や時間帯に独自スポーツ教室を実施し、継続利用を促します。
- 運動を始めるきっかけとして、初回体験会を無料にて実施します。

【公園外周コースの利用率向上策】

- 本公園を地域の「健康促進拠点」（ウォーク、ランニングステーション）と位置づけ、案内看板やロッカー等を設置し、ランナーやウォーカー向けにシャワーやロッカーを無料で貸出します。

【プールの利用率向上策】

- プール利用率向上として、東海体育指導独自のスイミングスクールを開催します。
- カルチャーパークの夏季プールでも、スイミングスクール等を実施します。
- 夏季屋外プールの営業期間後の活用法を模索し貸し出しを検討します。
- 体育館トレーニングルームおよびおおね公園プール・トレーニングルームでは、1 カ月定期券や回数券（11 枚綴り：1 回分お得）を発行します。
- おおね公園ではプールとトレーニングルームを同時に利用できる共通券を発行します。

【トレーニングルームの利用率向上策】

- トレーニングルーム内での簡単なプログラムの実施や健康相談等にも対応します。
- トレーニングルームでは、基礎的で効果の高いトレーニングを紹介し指導にあたりとともに、体組成測定結果等からアドバイスすることで継続利用を促します。
- トレーニングルームでは、初めて利用される方向けに講習会を事前予約なしで毎日実施します。
- トレーニングルーム利用者へのサービスプログラム（無料）として、テレビモニターを設置し「エクササイズ」や「ストレッチ」画像を映し、運動継続を促進します。
- 専用の体組成器を使い、「健康測定・相談会」（無料）を定期的 to 実施します。

【陸上競技場の利用率向上策】。

- 陸上競技場芝生内でのグラウンドゴルフ利用時にはクラブとボールの無料貸出しも行います。
- 施設空き時間の活用のため新たな用途（スポーツ大会など）を含めて貸出を検討します。

②利用者サービス向上に向け工夫

- 最寄りの駅（秦野駅と渋沢駅、東海大学前駅と鶴巻温泉駅）とカルチャーパーク、おおね公園を結ぶ巡回バスサービスを実施します。

- ランニングステーション周りにペットリードフックエリアを設け、公園利用者へのサービス向上を図ります。
- トイレの一部が和式タイプのため、市とも相談の上、洋式便座に順次改修します。
- ワンタッチテントを貸し出し夏場の熱中症を予防します。また体育館、カルチャーパーク受付で氷の無償提供をします。
- カルチャーパーク内にスタンドが無い自転車が停められるサイクルピットを設置します。
- カルチャーパーク夏プール開催期間に合わせて、夏季限定でキッチンカーの展開を実施し、利用者の利便性を向上させます。
- おおねトレーニングルームマシーン機器の一部入替を検討します。
- アンケートでいただいたご意見、ご要望で取り入れられるものは即対応します。

4. 安全管理・事故防止

①利用者の安全確保や秩序の維持

- 利用者の病気やけがに対応できるよう、簡易な救急セットを用意するとともに、運営スタッフがまず意識の確認を行った上で、119番通報と応急処置等適切・迅速に対応します。
- 運営スタッフ全員に「普通救命救急講習」の受講を義務付けます。
- プール監視員は陸上・水中での救助訓練など実務に近い形で実施します。
- ゲリラ豪雨では、事前の土嚢設置や事後のホース（ポンプ）による排水作業を行います。
- 大規模な大会や夏プール等興行時に急な大雨や落雷が発生した場合、ただちに一時中断をしてもらうとともに、避雷針のある室内に誘導します。
- AEDをペコちゃん広場付近にも常設します。
- 公園に数多く設置されている案内板に現在地が分かるよう表示を加えるとともに緊急連絡先を分かりやすく掲示するようにします。
- 陸上競技場本部席に使えない椅子などがあり環境整備の指摘を受け、5S活動（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）を行い、引き続き、環境整備を維持し、利用者の利便性向上につなげます。

②事故の未然防止や防災防犯に配慮

- 大会規模等に応じて、主催者に駐車場誘導員を配置させ、近隣や構内の混雑を緩和します。さらにホームページで駐車場の混雑状況をタイムリーに配信案内します。
- 事務所内に防犯カメラを設置し、盗難、強盗等の抑止、万が一事件・事故があった際、早期解決に至るよう努めます。
- 行政様各署との連携を図り協業できる分野について提案営業を計画していきます。

5. 地域協働

①地域住民や公益財団法人秦野市スポーツ協会等の団体との連携や協働

- 市スポーツ協会と自主事業関連連絡会を開催し連携します。
- 市主催事業で行われている「こどもまつり」「商工まつり」「市民の日」や「水無川マラソン大会」の事業成功に向け、運営サポートや広報活動のお手伝いも行います。
- 地域住民にもスポーツを楽しんでいただくために、「スポーツ品販売会」等を実施します。
- 地域スポーツ指導員育成のために、要望に応じて指導者育成講習会の講師手配（有料）などに協力し市のスポーツ振興に貢献します。
- 近隣の幼稚園や小中学校から要請があった場合、指導員を派遣して子供向け運動プログラム（有料）を実施したり、職場体験受入れにも対応し地域の子どもの育成に貢献します。
- 大会やイベント前など定期的に、スタッフ全員で本施設周辺の清掃活動を行うとともに、地域のボランティアや自治会などと連携し、さらに広域な清掃活動を行います。
- 老人会、大学OB会によるカルチャーパーク一斉清掃活動に協力します。

6. 自主事業の実施計画

①独自の特色ある事業

- ミズノの契約スポーツ選手等を活用しミズノビクトリークリニックを開催します。
- 女子野球タウンの認定化に伴う女子野球教室を引き続き実施します。
- プロバスケットボール（横浜ビー・コルセアーズ）の通年スクールを引き続き実施します。
- 市内の新設トレーニングジム（24 時間営業等）について、調査研究し、更なるサービスにつなげていきます。
- 総合体育館トレーニングルームでフィットネス教室などを引き続き開催します。
- 東海体育指導所所属の日本水泳連盟公認検定員による泳力検定会（全世代対象）を実施します。
- おおね公園プールで、成人向け水泳教室を開催します。
＊朝水泳教室（9 時 30 分～10 時 50 分）、夜水泳教室（19 時～20 時 30 分）
- カルチャーパーク水泳プール（50mプール）で、一般（15 歳以上）向けの水泳教室を開催します。カルチャーパーク水泳プールで、「監視員体験ごっこ」や「宝探しイベント」を引き続き実施します。
- 水無瀬マラソンに合わせ「ランニングクリニック」を実施します。
- 体育館事務所前にショップを設置し、ウェア、シューズ、タオルやソックスなどスポーツ用品等を販売します。カタログも設置し取り寄せ販売などにも対応します。

②誰もが参加しやすい創意工夫

- スポーツ教室については、継続して参加しやすいよう、1 回あたりの参加料は 550 円から 1,000 円までと安価な設定とします。
- スポーツ教室は、基本的に平日の空き時間にスケジュールを組むこととします。
- ホームページはプログラムの内容を分かりやすく表示し、ホームページ上からスムーズ

に申込みいただけるようにします。

- 教育委員会から「中学部活動の民間移行（有料）」の要望があればミズノ本社とも連携し提案、対応していきます。
- 「シルバー大学（仮称）」のようなスポーツから離れた年配者に対しアプローチができれば調査、研究を継続します。

● 自主事業計画一覧

教室名	内容	対象	開催時期
ミズノ ビクトリークリニック	ミズノのトップアスリートを招いた教室イベント	小学生、中学生	10月予定
ヘキサスロン ミズノキッズ運動能力向上教室	「走る」「跳ぶ」「投げる」の基本動作を学べるミズノ独自のグッズを活用した運動プログラム	4歳～小学生	10月予定

～女子野球塾 (サブアリーナ併用)	女子限定の野球スクール 指導：加藤優さん（秦野ふるさと大使、サニーキャッチボール代表）	小学生の女子	4月～
フットサル教室	湘南ベルマーレフットサル現役選手による親睦を兼ねた教室 (スポーツ推進課様と連携)	小学生	8月
バスケットボールスクール	集客力あるプロチームアカデミー等と連携した子どもスクール	4歳～中小学生	4月～
ヨガ教室	呼吸、姿勢、瞑想を組み合わせ心身リラックス。体のゆがみを整え柔軟性を高めます	一般（15歳以上） 中学卒業以降	4月～
レズミルズ ボディコンバット	ボクシング、テコンドー、空手などの格闘技の動きをベースにした有酸素運動です	一般（15歳以上） 中学卒業以降	4月～
ラディカルフィットネス エクストリーム 55	ステップ台、ライトウエイトを使用した、脂肪燃焼と筋力UPを目指す有酸素運動です	一般（15歳以上） 中学卒業以降	4月～
コアクロス	体幹部分（コア）を集中に鍛えることで、体全体のバランスが良くなり、軸がブレることなく腰痛予防や体の負担を軽減するエクササイズです	一般（15歳以上） 中学卒業以降	4月～
ペルビックストレッチ	骨盤付近の筋肉をほぐすことによりゆがみを改善し、腰痛予防や尿漏れ防止などの効果が期待	一般（15歳以上） 中学卒業以降	4月～

	できるエクササイズです		
ZUMBA KIDS	小学校低学年を対象とし、ラテン系の音楽とダンスを通して、音感やリズム感、運動神経の創造性を養うエクササイズです	小学校低学年	4月～
ハワイアンフラ	ワイアンの曲に合わせてゆったりと踊り、心がリラックスできると共に、シェイプアップ効果も期待できる癒しのダンスプログラムです	一般（15歳以上） 中学卒業以降	4月～
ストレッチ&チューブ体操	ストレッチでカラダをほぐしながら、チューブを使って全身の筋肉を動かすことで肩こりやひざ痛、腰痛などに効果が期待できるクラスです	一般（15歳以上） 中学卒業以降	4月～

中央運動公園

教室名	内容	対象	開催時期
女子野球塾 (野球場)	女子限定の野球スクール 指導：加藤優さん（秦野ふるさと大使・サニーキャッチボール代表）	小学生の女子	4月～
ランニングクリニック	水無川マラソン参加者向け教室 シューズの正しい履き方、フォームチェックとペース配分	一般（15歳以上） 中学卒業以降	11月予定
パーク DE フラ	地元秦野で人気講師によるアウトドア・フラダンス体験	一般、(親子可)	9月
クロール・背泳ぎ教室	初心者を中心にクロール・背泳ぎを基礎から練習します	一般（15歳以上） 中学卒業以降	7月・8月
背泳ぎ・バタフライ教室	平泳ぎ・バタフライを、基礎から練習します	一般（15歳以上） 中学卒業以降	7月・8月
セミパーソナル スイミング	フォームの改善やワンポイントアドバイスなど、参加者の要望に合わせて指導を行います。	中学生以上	8月
監視員体験ごっこ	監視員のお仕事を体験してもらい、プールの安全を学	小学生 (もぐれる方)	8月

	びます。		
Last Summer day !	8月最後の思い出づくり。簡単なゲームや宝箱探しのイベントを行ないます。	小学生 (もぐれる方・身長80CM以上の方)	8月

秦野市立おおね公園

教室名	内容	対象	開催時期
バンビコース	進級基準を設け、レベルに応じた練習を行います。	幼児 (年長)	4月～
ジュニア初級コース	補助具なしでバタ足5m泳げる方が、クロール・背泳ぎ・平泳ぎの習得、泳力検定合格を目指します。進級基準を設け、レベルに応じた練習を行います。	小学生	4月～
ジュニア中級コース	ジュニア初級コースの次のステップのクラス。バタフライ・ターン動作の習得、泳力検定合格を目指します。進級基準を設け、レベルに応じた練習を行います。	小学生	4月～
ジュニア上級コース	ジュニア中級コースの次のステップのクラス。100m・200m個人メドレー完泳、泳力検定合格を目指します。	小学生	4月～
水泳記録会	近隣住民・近隣クラブに参加を呼びかけ水泳大会を開催します。	希望者	3月予定
泳力検定会	日本水泳連盟公認の泳力検定会を実施いたします。	希望者	11月・3月 予定
誰でもできる自重トレーニング	誰でも(初心者でも)簡単にできる安全で効果的な自重筋力トレーニングのポイントやコツを学んで	一般(15歳以上) 中学卒業以降	4月～

	いただく教室です。		
ゆるやかエアロビクス	有酸素運動を行い、脂肪燃焼・基礎代謝アップを目指します。	一般（15歳以上） 中学卒業以降	4月～
イストレ&ストレッチ	自宅でもできる椅子を用いたトレーニングとストレッチを学んでいただく教室です。	一般（15歳以上） 中学卒業以降	4月～

7. 広報計画

①利用促進効果のある広報計画

- インターネットや紙媒体など幅広い層への広報、無料体験会など計画的に実施します。
- ホームページに、各施設がいくらで利用することができるか一目で分かるように料金を表記し利用を促進します。
- ペットリード用フックを設置するなど、近隣住民が公園をより快適に散策してみたいと思うきっかけづくりをします。
- 地元の「タウンニュース」社と共に本施設の効果的な広報を行います。
- 市民に広く親しまれている「広報はだの」を活用し、積極的にPRします。

8. 市内事業者の活用

① 市内事業者の活用

- 公園の管理・清掃等の業務の一部は、「(公財)秦野市シルバー人材センター」に依頼します。
- 文化会館管理者、図書館管理者と相互メールによるイベントや大会等の情報を共有します。
- 市内指定管理企業間で連携し、相互施設紹介を進めるなど相乗効果を図ります。

秦野市文化会館 令和7年度 事業計画書

＜目次＞

1. 管理運営の理念、方針
2. 管理業務の体制
3. 事業の概要及び実施する時期
4. その他の項目

令和6年12月 9 日
みんなの文化会館はだのパートナーズ

1.管理運営の理念、方針

(1)管理運営理念は「みんなの文化会館」

私たちは、秦野市文化会館の設置目的「市民の文化向上及び福祉増進（秦野市文化会館条例第2条）」を達成するため、条例・法令を遵守し、利用者にとって公平・平等かつ安心・安全を確保しながら、市の芸術文化振興、賑わい創出の拠点として「みんなの文化会館」を合言葉に、市民とともに創り、育み、未来につなぐ新しい形の施設運営を目指します。

(2)10 の管理運営方針

上記の理念に基づき、次の10項目を管理運営方針とします。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ①優れた芸術文化の鑑賞機会を提供します | ⑥with コロナ時代のサービスを提供します |
| ②公平・公正な運営を行います | ⑦大規模改修のアドバイス体制を整えます |
| ③安全・安心で快適な施設管理を行います | ⑧効率的で効果的な運営を行います |
| ④高いホスピタリティで利用者をお迎えします | ⑨環境配慮のSDGs運営を目指します |
| ⑤地域交流拠点として賑わいを創出します | ⑩市民との「共創運営」を目指します |

(3)秦野らしい「共創運営」を目指します

「みんなの文化会館」の理念に基づき、地域の様々なステークホルダーと連携する新しい「共創運営」の形を目指します。40年以上のメディア活動を通じ、地域社会と強い信頼関係を築いてきた代表企業の強みを生かし、みんなで地域の文化を育てようという地域共創の仕組みづくりに取り組みます。

【主な取り組み】

○地域人材を活用した芸術文化事業

○地域の芸術文化を発信するメディア事業 ○アウトリーチ型の文化芸術コンテンツづくり

(4)「賢い活用」「スマート化」の視点、ノウハウを取り入れます

私たちは「発信力」「企画力」「人脈・ネットワーク力」といった強みを生かし、施設の「賢い活用」「スマート化」の視点を重視した管理運営をすることで、事業収支を好転させ、収益をサービス向上に還元するという好循環を生み出すため、次のような事項に取り組みます。

【主な取り組み】

○数値目標の設定 ○マーケティング活動 ○スタッフのモチベーションアップ ○営業活動の展開
○デジタル化推進

(5)環境へ配慮したSDGs運営を目指します

SDGs経営の視点を大切に、次のようなことに取り組みます。



【主な取り組み】

○エネルギー使用量の目標を設定 ○公共交通機関での来館や消灯・節水の呼びかけ ○ペーパーレス化 ○ノー残業デー、クールビズ・ウォームビズの実施 ○ごみ持ち帰り推進 ○グリーン購入

2. 管理業務の体制

(1) 共同事業体「みんなの文化会館はだのパートナーズ」の役割

- 最高意思決定機関 ○年度事業計画の策定と承認 ○パートナーズ運営会議の開催
- 秦野市との指定管理者協定に基づく履行管理 ○事業体協定に基づく履行管理

(2) 「みんなの文化会館はだのパートナーズ」の構成企業の役割

- 株式会社タウンニュース社(代表企業)…事業体事務局、施設の管理運営、施設設備保守監視、自主事業の企画運営
- 株式会社日動計画…環境衛生測定・清掃・保安警備
- 株式会社サウンドダック…舞台設備管理運営業務・自主事業の運営
- 株式会社関野建設…施設の点検・改修
- タウンニュース・ヒューマンキャピタル株式会社…自主事業の企画・レストラン運営

(3) 効果的な人員配置で高水準のサービスを提供

館長、事務管理職員、施設維持管理職員、舞台技術職員を効果的に配置し、万全の体制で業務にあたります。また、構成企業各社の本社職員が職務をサポートします。

貸館事務・事業運営の体制

館長が貸館事務・事業運営の統括を兼任し、1日4～5人常駐の体制で業務にあたります。また、タウンニュース社本社や秦野支社のサポート体制を強化し、事業運営や事務作業、広報業務などについて支援します。

舞台設備管理運営業務の体制

舞台、照明、音響の各技術担当を配置し、舞台設備の保守点検、運営、コンシェルジュサービスを提供します。

施設維持管理業務の体制

- 日常清掃…1日1～3人の日常清掃員、巡回清掃員を配置 ○定期清掃…日動計画本社から派遣
- 施設設備の保守監視業務…1日1～3人の従事者を配置 ○環境衛生測定業務…建築物環境衛生管理技術者を1名選任及び配置
- 保安警備業務…24時間警備とし、開館時間中は1名以上の警備員を配置し、休館日及び閉館時間中は機械警備で行います。

(4) 危機管理体制

安全管理を最優先事項とし、様々なりスクを認識した上、法令規則の遵守を徹底し、安全・安心を確保する体制づくりと未然防止策を講じます。

- 日常点検、巡回警備、施設・舞台の定期点検等により、事故等の未然防止につなげます
- 危機管理マニュアルに基づき、年2回の防災訓練を実施します

(5) 個人情報の管理体制

個人情報の漏えいは個人の権利侵害や行政の信用失墜につながるとの責任を強く認識し、市個人情報保護条例等を遵守し、情報の適正管理と保護徹底に取り組みます。代表企業の経営管理部長を個人情報管理責任者として配置し、個人情報保護規程の遵守、セキュリティ対策に取り組みます。

3. 事業の概要及び実施する時期

(1) 令和7年度 自主事業の実施方針

令和7年度も、大規模改修により10カ月間の全館休館が予定されていますが、当社実施の「クアーズテック秦野カルチャーホール市民意識調査」(令和6年6月/回答総数184 件)の結果及び私たちの自主事業実施方針を踏まえ、下記のような方針で自主事業を展開します。

・令和6年度に続き、休館中もアウトリーチ型事業の展開により、市民の文化・芸術の鑑賞機会の創出に取り組めます。

アウトリーチ型事業については、①小・中学校：歌声の響くまちへ～秦野の心のふるさとの歌「丹沢讃歌」を歌おう！の訪問授業、②市内公民館での伝統文化継承シリーズ ③福祉施設、市内指定管理者施設との連携のアウトリーチを調整しています。

みんなの文化会館自主事業実施方針

- ①話題性のある人気アーティストの公演を実施します
- ②市民が文化芸術に気軽に触れることができる場を提供します
- ③学校やサークル等の発表の場として市民が主役の舞台を提供します
- ④市内で活躍する若手アーティストの支援や、発掘を行います
- ※①③については、大小ホール再開時へ向けた準備を行います。

クアーズテック秦野カルチャーホール 市民意識調査

令和6年6月実施の「市民意識調査」では、「文化・芸術の鑑賞や活動についての考え」の問いに対し、「とても大切だ」「まあ大切だ」と答えた人が99%を占め、「施設に求めるサービス」についての質問では「公演・イベントの充実」と答えた人が全体の66%いました。また、「興味ある公演ジャンル」の設問では、クラシック音楽(41%)、演劇ミュージカル(37%)、演歌・歌謡曲(36%)、落語(26%)、ジャズ(21%)、お笑い(19%)、ロック・ポップス(19%)、歌舞伎・古典芸能(19%)と嗜好が分かれました。令和7年度はアウトリーチ事業で、クラシックを中心とした音楽鑑賞や楽器体験の機会の提供を重点施策とします。

(2) 令和7年度 年間の自主事業数

1. 仕様書の実施基準

- ①文化会館などで行う市民の芸術文化の振興を目的とした事業
 - ・やまなみファミリーコンサート 【4 事業以上】 ・丹沢音楽祭 【1事業】
 - ・山田和樹プロデュース公演 【1事業】 ・その他、市民の文化振興に資する事業【4事業以上】
- ②文化会館の利用促進、普及を目的とした事業(人寄せ要素を重視した公演)
- ③その他の事業(芸術文化の振興及び会館の利用普及及び宣伝を図る事業)

2. 実施回数

場所	①文化会館等で行う市民の芸術文化振興を目的とした事業	②文化会館の利用促進、普及を目的とした事業	③その他の事業	計
大・小ホール	0	0	0	0
その他施設	21	20	5	46
合計	21	20	5	46

※全館休館で実施困難なため、丹沢音楽祭と山田和樹プロデュース公演は含まれていません

(3)令和7年度 年間の自主事業スケジュール(案)

▼▼自主事業は、予算積算時に立てたものです。

実施日	自主事業名	事業目的	会場	動員目標
4月5日(土)	サタデーフェスティバル	②利用促進普及事業	調整中	150
4月11日(金)	はだの文化通信「ハルモニア」発行	③その他の事業	タウンニュース紙面企画	—
4月13日(日)	ランチタイムコンサート	①芸術文化振興事業	タウンニュースホール	60
4月 未定	アウトリーチ事業	②利用促進普及事業	市内施設	50
5月 4日(土)	サタデーフェスティバル	②利用促進普及事業	調整中	150
5月 未定	公民館アウトリーチ	①芸術文化振興事業	市内公民館	50
5月25日(日)	ティータイムコンサート	①芸術文化振興事業	タウンニュースホール	60
5月 未定	アウトリーチ事業	②利用促進普及事業	市内施設	50
6月 7日(土)	サタデーフェスティバル	②利用促進普及事業	調整中	150
6月15日(日)	ランチタイムコンサート	①芸術文化振興事業	タウンニュースホール	60
6月 未定	公民館アウトリーチ	①芸術文化振興事業	市内公民館	50
6月 未定	アウトリーチ事業	②利用促進普及事業	市内施設	50
7月 6日(土)	サタデーフェスティバル	②利用促進普及事業	(調整中)	150
7月12日(金)	はだの文化通信「ハルモニア」発行	③その他の事業	タウンニュース紙面企画	—
7月未定	ティータイムコンサート	①芸術文化振興事業	タウンニュースホール	60
7月未定	アウトリーチ事業	②利用促進普及事業	市内施設	50
8月未定	ランチタイムコンサート	①芸術文化振興事業	タウンニュースホール	60
8月未定	公民館アウトリーチ事業	①芸術文化振興事業	市内公民館	50
8月未定	アウトリーチ事業	②利用促進普及事業	市内施設	50
9月未定	ティータイムコンサート	①芸術文化振興事業	(調整中)	30
9月未定	アウトリーチ事業	②利用促進普及事業	市内施設	50
10月5日(土)	サタデーフェスティバル	②利用促進普及事業	(調整中)	150
10月未定	はだの文化通信「ハルモニア」発行	③その他の事業	タウンニュース紙面企画	—
10月未定	ランチタイムコンサート	①芸術文化振興事業	タウンニュースホール	60
10月未定	アウトリーチ事業	②利用促進普及事業	市内施設	30
11月 1日(土)	サタデーフェスティバル	②利用促進普及事業	(調整中)	150
11月未定	ティータイムコンサート	①芸術文化振興事業	タウンニュースホール	60
11月未定	アウトリーチ事業	②利用促進普及事業	市内施設	50
11月未定	やまなみコンサート(1)	①芸術文化振興事業	タウンニュースホール	100
11月未定	「丹沢文化通信」発行	③その他の事業	冊子発行	
12月未定	公民館アウトリーチ	②利用促進普及事業	市内公民館	50
12月未定	ランチタイムコンサート	①芸術文化振興事業	タウンニュースホール	60
12月未定	アウトリーチ事業	②利用促進普及事業	市内施設ほか	50
12月未定	やまなみコンサート(2)	①芸術文化振興事業	タウンニュースホール	100
1月未定	公民館アウトリーチ	①芸術文化振興事業	市内公民館	50
1月未定	やまなみコンサート(3)	①芸術文化振興事業	タウンニュースホール	100
1月未定	ティータイムコンサート	①芸術文化振興事業	タウンニュースホール	60
1月未定	アウトリーチ事業	②利用促進普及事業	市内施設ほか	50

1月未定	はだの文化通信「ハルモニア」発行	③その他の事業	タウンニュース紙面企画	—
2月未定	やまなみコンサート(4)	①芸術文化振興事業	タウンニュースホール	100
2月未定	ランチタイムコンサート	①芸術文化振興事業	第1練習室	40
2月未定	アウトリーチ事業	②利用促進普及事業	市内施設ほか	50
3月1日(土)	サタデーフェスティバル	②利用促進普及事業	(調整中)	150
3月未定	ティータイムコンサート	①芸術文化振興事業	第1練習室	40
3月未定	アウトリーチ事業	②利用促進普及事業	市内施設ほか	50

※アウトリーチ事業の内容は、学校、福祉施設へ出前授業、出前コンサートを予定

※2月から管理棟の再開でランチタイムとティータイムコンサートは、会館内での開催に戻ります

(3)事業実施により目指す指標

○観客動員目標/年 2,930 人 ○観客満足度/90%以上

4. その他の項目

(1) 市民意識調査

令和8年度からの施設運営に市民ニーズを反映させるため、代表企業のタウンニュース社では令和7年4～6月に秦野市文化会館に関する市民意識調査を実施します。

市民意識調査の実施概要

○実施日：令和7年4～6月

○実施方法：①タウンニュース秦野版紙上で告知し、web フォームで受付

②出張公演でアンケート用紙を設置し、当日回収で受付

③回答者数の確保のため、抽選プレゼントを用意

○設問内容：興味のある公演ジャンル、施設へのイメージ、意見・要望

(2) レストランの運営

1. 実施概要

令和7年度は、全館休館および部分休館となるため、直営レストランの営業はいたしません。令和8年度の再開へ向けた準備、人員募集を行います。

(3) 大規模改修工事

秦野市文化会館大規模改修では、秦野市や建設事業者と協議の上、共同事業体関係職員の立ち合いなどを行います。

(4) プロモーション強化

令和6年6月実施の「市民意識調査」で、「施設に求めるサービス」の設問について回答者の37%が「催し物の広報・PR の強化」を挙げています。休館期間が長期にわたるため、クアーズテック秦野カルチャーホールと市民とのコミュニケーションが途絶えることがないように、令和7年度もプロモーション強化を重点施策に位置付けます。

1. オリジナルメディアの活用・運営

○利用案内パンフレット	施設概要、ホール利用の案内パンフレットを活用します
○ホームページ	ホームページ上で施設情報やイベント情報などを配信します
○SNS	Facebook・X(旧 Twitter)等のアカウントで情報を発信します
○月刊「催し物案内」	文化会館の催し物スケジュールを紹介する A4版の月刊紙を発行します
○自主事業の販促物	自主事業を開催する際は、チラシやポスター等、販促物を制作します

2. オウンドメディア「タウンニュース」の活用

○クアーズテック秦野カルチャーホール情報コーナーの定期掲載化
タウンニュース秦野版(29,890部新聞折込+店舗施設配架)上で本施設に特化した情報コーナーを連載し、利用対象となる秦野市民に情報を届けます。
○自主事業は紙面広告を全県展開・提携キュレーションサイトも最大活用
神奈川県内全域と東京都多摩地区の全36地域(1,629,790部新聞折込+施設配架)で紙面を展開している当社の強みを生かし、自主事業の告知について市外へのプロモーションを行います。クアーズテック秦野カルチャーホールの知名度アップ、「文化芸術のまち」としてのシティプロモーションにもつなげます。また当社が提携しているキュレーションサイト(Yahoo,グノシーほか)への掲出も最大限活用し、若年層へのアプローチ

につなげます。
○利用団体のイベント周知（休館に伴う、他施設での開催告知もサポート）
文化会館利用団体のイベントについて、タウンニュース紙上で報道します。地域メディア社が管理する施設であるという強みを十分に発揮し、利用団体と市民とのつながりを創出する文化芸術の活動拠点として機能するよう、広報支援に取り組みます。

3. 当館利用登録団体との関係継続、市内事業所や芸能プロモーターへの利用促進強化

○利用団体	会館再開へ向けたお知らせや利用案内を送付します
○市内事業所	未利用団体や事業所へ向け、利用促進案内を送付します
○芸能プロモーター	会館再開へ向けて、大小ホールの利用促進を案内します

(5) 市内芸術振興及び文化会館の利用普及、宣伝をはかる取り組み

私たちは「みんなの文化会館」の理念に基づき、秦野市の文化芸術振興に寄与し、広く親しまれる施設運営をするため、それらに資する自主事業と広報活動に取り組みます。

1. 多くの市民が芸術に触れ、学び、活躍する自主事業

全館休館中にも、「みんなが身近に音楽に触れる機会」「子供たちが芸術に触れる機会」「みんなが発表・活躍する機会」「みんなが文化会館を知る機会」を創出するため、地域人材などを活用したアウトリーチ型事業に力点を置きます

2. 市の芸術文化振興へ 文化会館と連動した媒体の発行

市内の芸術文化振興のため、文化会館と連動した下記のような媒体を制作します。

○芸術文化創造マガジン「丹沢文化通信」

市内で活躍するアーティスト、文化芸術団体の活動、誰もが楽しめるアート体験の場など、市民が地域の文化芸術に触れてみたくなる話題を集めて発行します。情報公開の観点から、市に提出する事業報告書の内容についても掲載します。（年1回、A4版24頁、令和7年9月発行予定）

○タウンニュース全面特集企画「芸術文化通信 harmonia ハルモニア」

タウンニュース秦野版で全面1頁の芸術文化通信を企画します。芸術文化活動に光を当てる特集記事、文化会館の公演情報、地域のイベント情報等を掲載します。（年4回発行予定）

秦野市はだの丹沢クライミングパーク

指定管理業務 令和 7 年度事業計画書

《目 次》

1. 指定管理者の構成
2. 管理運営方針
3. 事業の概要（維持管理、利用促進、利用者対応、
事故防止等、地域連携）
4. その他の事項

令和 6 年 9 月 30 日

神奈川県公園協会・小田急電鉄共同事業体

1 指定管理者の構成

私たちは、公益財団法人神奈川県公園協会（以下「グループ代表」）と小田急電鉄株式会社（以下「小田急」）の2社で構成するグループです。

グループ代表の豊富な指定管理実績と小田急の交通ネットワークや広報・企画力を融合し相乗効果を発揮することで、本施設の設置条例の目的を達成し、その機能を最大限に高め、良好な利用者サービスの提供と費用対効果の向上を図り、利用者の満足が得られる管理運営を実現します。

また、神奈川県山岳連盟と連携しスポーツクライミングの普及振興を図ります。



2 管理運営方針

山岳スポーツセンター等と一体となった管理運営

本施設の管理運営に当たっては、山岳スポーツセンター（以下「山岳SC」）を始め、秦野戸川公園や秦野ビジターセンター（以下「秦野VC」）の指定管理者として、連携しながら一体的な運用を行うことで、全国的なスポーツクライミングの聖地としての魅力を高め、市民の健康増進や表丹沢の魅力向上と観光振興、クライミングの普及振興と利用者の裾野の拡大を図っていきます。

また、秦野市や神奈川県などと連携しながら、本施設を含めた4施設の広域利用の促進と相乗効果による魅力の向上により、地域振興の核となる拠点づくりを進めます。



1 施設等の維持管理

利用者の安全を最優先に、確実な巡視と保守点検、適切な修繕を行うことで、予防保全を基本とした施設の長寿命化と利用者の安全で快適な利用の確保を図ります。

特に、ボルダー壁の安全確保については、山岳ＳＣを維持管理してきたノウハウを生かし、壁管理に精通した職員による日常点検やルートセットに合わせた専門業者による点検を確実にを行い、異常の早期発見と早期対応を行うなど、安全な施設管理を実施します。

ア) プレーイングクオリティを保つウォール管理

ウォールの点検：日常点検により異常の早期発見に努め、利用者が安心して利用できる環境を保ちます。安全上の問題が見つかった場合には、利用制限を行い、市と調整のうえ早期対応を行います。

魅力あるルートセット：ボルダー利用者の拡大を図るため、利用者目線による魅力あるルートセットを日ごろから検討し、ホールド設置を行います。



イ) 秦野戸川公園と一体となった広場空間の維持

本施設周辺の広場が公園の一部として機能するよう美観を維持します。

草地管理：利用者の滞留場所としての機能を保ち、ヤマビルの発生を抑制するため、小まめな草刈りを実施します。

樹木管理：定期的な軽剪定に加え、日常巡視における枝折れや倒木等の早期発見と早期対処を行います。

花壇管理：公園のチューリップ等の大規模花修景と併せた植栽等、四季を通じた花の魅力向上を図ります。

四阿等屋外施設：施設の劣化や破損等を早期発見します。



ウ) 清掃業務

施設の美観と衛生を維持し、利用者の満足が得られる維持管理を行います。特に、ウォール周辺や衛生面への配慮が必要なトイレや更衣室は、定期的な清掃に加え、繁忙時には随時清掃を行うなど、こまめな清掃を行います。



エ) 警備業務

日常的な巡視による警備：開館中は職員による見回りを随時行い、ゴミや危険物の確認、利用指導等を行い、利用者の安全を守ります。

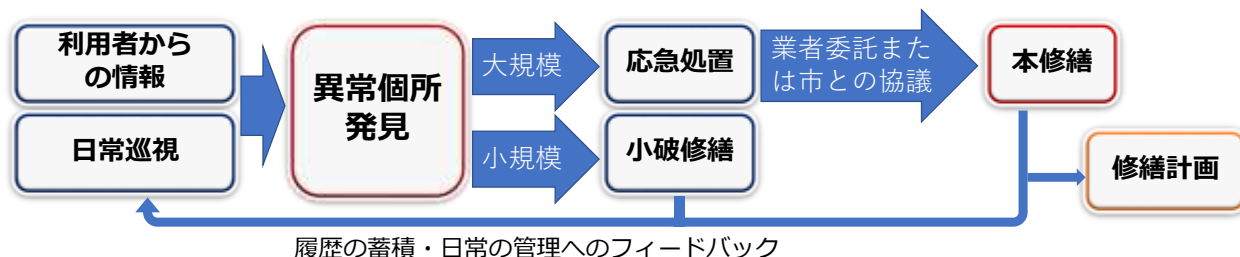
閉館時や休業日の警備体制：機械警備を行います。異常があった場合は、警備員が現場に急行して応急対応を行うとともに、市や警察等に報告、協力を要請します。

オ) 設備の保守管理

利用者の安全を最優先とした保守点検・修繕の実施：放送設備や機械設備等の動作確認

や目視巡回などの日常点検は職員で実施し、法令等に基づく定期点検などは専門業者に委託して実施します。

計画的な修繕と保守点検：保守点検や修繕を行った場合は、以後の維持管理へ反映させることで、異常箇所の早期発見と安全で効率的な維持管理を行います。



2 利用促進のための取組

本施設は、年間を通じて幅広い世代に利用されています。こうした利用状況を踏まえ、初心者や中・上級者、ファミリー層からトップ選手まで、幅広い世代の利用を促進します。

また、山岳ＳＣ等と連携し、更なるスポーツクライミングの利用促進を図るとともに、秦野市の観光振興や地域振興の拠点づくりに取り組みます。

ア) スポーツクライミング競技の振興

レベルに応じたボルダー教室：初級、中級、上級と参加者のレベルに応じたボルダー教室を開催し、ニーズに合わせた競技振興を図ります。さらに、ステップアップを目指す方には、山岳ＳＣのリードやスピード競技を案内し、クライミング３種目の振興にも貢献します。

魅力あるサービス：スタッフによる初心者を対象としたワンポイントアドバイスを行う時間帯を設ける他、利用者を飽きさせないルートセットによりリピーター増を図ります。

各種サービスデー：平日や閑散期の利用促進を図るため、レディースデーやシルバーデーなど、ターゲットを絞った割引日を引き続き実施します。

スポーツクライミング競技の普及：小田急が行うイベント活動として、親子でボルダリング体験を開催するほか駅周辺イベント活動においても、秦野市が所有する移動・持ち運びが可能なボルダーパネルを活用した体験会を行います。

次世代アスリートの育成：日本山岳・スポーツクライミング協会及び山岳ＳＣと連携し、次世代アスリート育成強化拠点として国内の競技レベルの底上げに協力します。

イ) 山岳スポーツセンター等と協働したスポーツクライミングの利用促進

だれもが楽しめる山岳スポーツ普及イベントの同日開催等：競技人口の裾野拡大を図るため、初心者を対象とした本施設と山岳ＳＣとの同日体験会の開催に向けた調整を進めます。また、山岳ＳＣで開催している「視覚障がい者を対象とした体験クライミング」時の施設提供、障がい者減免利用案内の掲示等を行い利用促進を図ります。

山岳スポーツセンター等と連携した大会やイベントの実施：クライミングや登山に強みを持つ３施設（本施設、山岳ＳＣ、秦野ＶＣ）でイベントを連携して行い、クライミングの様々な魅力をＰＲすることで、クライミングの間口を広げ利用の拡大を図ります。

ウ) 市や県を代表する大会の開催及びサポート

市内競技者を対象としたクライミング大会「はだの丹沢カップ」開催のほか、国体予選となる「クライミングコンペオール神奈川」、インターハイ神奈川予選会、ジャパンカップツアーなどの大規模大会開催に当たっても、主催者や山岳ＳＣと連携を図りながら運営をサポートします。



クライミングの競技大会

エ) オリンピックのレガシーの継承

スポーツクライミングは、東京 2020 オリンピックで初めて正式種目となったことから、代表選手、有名選手のメッセージや写真展示を継続実施し、一過性のブームで終わらせることなく、レガシーの継承に貢献していきます。



オ) 多くの利用を図るために行う広報・情報発信の工夫等

本施設のほか、山岳ＳＣ、秦野戸川公園、秦野ＶＣと連携一体化した広報や情報発信を行うことで、相乗効果による効果的な広報を行います。

地域に根差した広報や交通事業者との連携（小田急の強みを活かした広報PR）、グループ代表が培った地域連携を活かした広報、独自の広報ツールの活用などを行います。

3 利用者対応・サービス向上の取組

子どもから高齢者、障がい者、外国人等、誰もが安全・安心・快適に施設を利用していただけよう、スタッフ全員が利用者との双方向コミュニケーションを重視したホスピタリティ溢れる接客を行います。

ア) 接客や情報共有、利用者との対話によるサービスの向上

窓口や電話での分かり易い対応や、対話による利用者サービスの向上に努めます。

イ) 平等な利用の確保

利用ルールの徹底や、全ての人に安全で快適な利用環境を提供できるユニバーサルなサービス対応などを行います。

ウ) ユニバーサルなサービスの提供

障がい者や高齢者、子育て世代、外国人利用者への適切な利用者対応を行います。

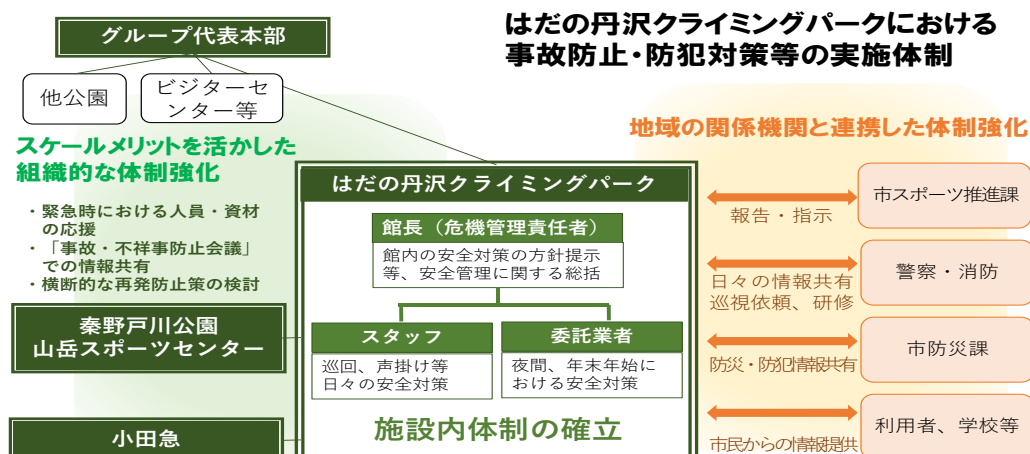
エ) 利用者ニーズ・相談や苦情等への対応と事業等への反映の仕組み等

相手の立場に立った真摯な対応と知識や経験を有する職員の対応、利用者ニーズを把握した継続的な改善に努めます。

4 事故防止等

ア) 日常の事故防止、緊急時の対応

館長を危機管理責任者とした体制の確立に加え、関係機関や地域等と連携した体制の強化、情報共有や巡視等の徹底により、事故等を未然に防ぎます。

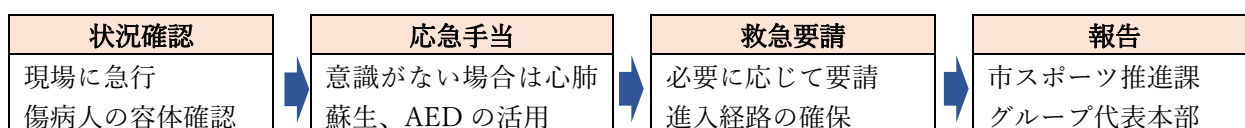


ボルダーの利用指導が適切にできる経験者を配置して利用者指導を行うとともに、日常巡視により不法行為等の防止に努めます。また、職員研修を実施します。

事故発生時には、人命を優先とした迅速な対応を行い、再発防止に努めます。

イ) 急病人及び新型コロナウイルス等への対応

急病人が生じた際には、次のように対応します。



また、救命に関する職員研修を行うとともに、AEDや救急キットを常備して必要に応じて応急措置を行います。

新型コロナウイルス感染症への対応としては、新型コロナの感染症法上の位置付けが5類に見直されたことから、見直し後の市の対応に応じた感染防止の取組を実施します。

ウ) 災害への対応

台風の接近や大雨洪水等の警報発表時には、リアルタイムな情報収集とともに、山岳SCや秦野戸川公園と連携した注意喚起等を行います。また、大規模震災への対応として、防災訓練や職員教育、避難者等の受け入れなどを行います。

5 地域と連携した魅力ある施設づくり

ア) 山岳スポーツセンター等と協働し、3つのクライミング施設を活用した地域経済活性化に繋がる取組

クライミング拠点としてのイベント開催：

クライミング体験会の実施に加え、施設前の広場などでのイベントを協働で企画検討し、クライミング拠点としての知名度向上を図り、秦野市の活性化につなげます。

地域に愛されるクライミング拠点としての広報・PR：

地元企業への働きかけや、教育機関の活動支援、子育て世代への情報発信、表丹沢エリアの活性化拠点としての魅力発信の調整などを行います。

「4館調整会議」による相互利用促進：

山岳SC、秦野戸川公園、秦野VCとの「4館調整会議」を定期的で開催し、連携強化による利用拡大とサービスの提供を行います。

イ) 地域団体等との連携

秦野市スポーツ協会や秦野市観光協会、県山岳連盟と連携した利用促進を図ります。

ウ) 地域に愛される施設づくり

日ごろのイベントや大会等の開催時に地域住民へチラシ・ポスターなどを配布し、本施設への理解を図りつつ、交流を図ります。

エ) 市内事業者の活用・市民の雇用

業務の一部を委託する場合は、特殊・専門的な業務を除き、地域に精通し、迅速かつきめ細かい対応が可能な市内業者を活用します。また、配置職員の雇用についても、クライミングの専門的な能力が必要な職員を除き、市民からの雇用を基本とします。

更には、地域雇用や高齢者・障がい者雇用の確保を図るため、秦野市シルバー人材センターや支援施設への業務委託や物品の調達などを進めます。

4 その他の事項

1 自主事業

本施設の設置目的を踏まえ、利用者への利便性の向上とスポーツクライミング競技の振興につながる自主事業を行います。

具体には、窓口での物販（靴下等）やキッチンカーの出店、自動販売機事業（附帯事業）を行います。

2 執行体制

本施設の設置目的を理解し、秦野市や県、地域や関係団体、利用者等に的確に対応できる者を館長として配置し、スタッフには、専門的な知識や経験を有する者を配置するなど、安定的な運営ができる体制、人材配置を行います。

3 コンプライアンス、社会貢献、個人情報保護

- ・施設の維持管理に関する法規や労働関係法規などの法令を遵守します。
- ・反社会勢力の排除や、守秘義務等の徹底を図ります。
- ・低炭素社会や循環型社会への貢献や、自然環境の保全に配慮した管理運営、環境マネジメントシステムによる実効性の担保などを行います。
- ・社会貢献活動や CSR の取組を進めます。
- ・SDG s（持続可能な開発目標）への取組を進めます。
- ・個人情報の保護に関する法律によるほか、グループ代表が整備した個人情報保護規程をはじめとした諸規程により、個人情報の適正な保護を行います。

表丹沢野外活動センター 令和 7 年度 事業計画書

＜内 容＞

1. 管理運営の理念・基本方針
2. サービス向上策
3. 指定管理事業・体験プログラム事業
4. 自主事業
5. 安全対策・危機管理
6. 組織体制
7. その他（広報活動・利用促進対策）

MGMグループ

1. 管理運営の理念・基本方針

表丹沢野外活動センターは、「表丹沢魅力づくり構想」において「表丹沢の自然体験拠点における山岳・里山アクティビティの活性化を支える施設」として位置づけられたことを契機に「表丹沢の様々な魅力を発信できる中心的な拠点」として、大きな役割を担うこととなりました。

私どもは、この役割を十分に理解し、以下の事業コンセプトのもと、「本物の魅力が見つかる表丹沢」という「表丹沢魅力づくりビジョン」の実現を目指します。

「表丹沢魅力づくりビジョン」の実現に貢献



コンセプトの実現を通して

【私どもが掲げる事業コンセプト】

里山で遊び、里山で体験し、里山でつながる表丹沢！

遊び・体験	自主事業等の充実	つながる
自然豊かな里山環境や交通アクセスを活かし、あらゆる層の人々が、本来の主体的な遊びを通して様々な体験を共有	表丹沢の様々な自然の本物の魅力を見て触って、香り、味わえる自主事業、体験プログラム等の一層の充実	様々な交流を拡大して、日常生活の一部（市民）や第二の故郷（市外の方）と感じていただける管理運営

また、表丹沢野外活動センターに求められている役割を果たすことに加え、「安全・安心の確保を前提とするサービスの向上と管理運営の効率化」という指定管理者制度導入の目的も達成するために、以下の5つの管理運営方針を掲げます。

【5つの管理運営方針】

- ① 表丹沢魅力づくり構想の中核施設としての役割を果たします。
- ② サービス向上や利用促進を図ります。
- ③ 安全・安心の確保を最優先した管理運営を行います。
- ④ 市民のみなさんと連携・協力した管理運営を行います。
- ⑤ 公の施設としての使命を果たす管理運営を行います。

2. サービス向上策

令和7年度は新たに、以下のようなサービス向上策を実施します。

- ソロキャンプ場エリア再整備。
- いり棟屋外スペース拡充。
- いり棟室内の空調設備増設。
- レンタル品による過ごし方選択の充実
- キッチンカーによる販売、試験導入。
- 地域食材を使用したイベントの検討
- ふるさと納税の返礼品施設利用の追加
- 体験イベント内容の充実
- 緊急時即時対応も含め、携帯電波改善をキャリアと調整。
- 宿泊棟クッションマット、井草畳へ変更検討。



3. 指定管理事業・体験プログラム事業

R5年、R6年度は市から実施が求められている指定管理事業を計21回に増やして実施しました。魅力的な体験プログラム事業とする為、回数を以前の13回にし、内容の充実を図ります。体験プログラム事業は24回行います。

【指定管理事業】

事業名	実施回数・時期
星空観望会	■年4回実施（5月、6月、7月、9月） みずがめ座η流星群 4月19日～5月28日 最も低い満月6/11、ペルセウス座流星群7月17日～8月24日、皆既月食9/8 等
工作教室	■年3回実施（5月、8月、2月）
キャンプ教室 ※	■年2回実施（7月、10月）
アウトドアクッキング	■年3回実施（6月、9月、12月）
表丹沢野外活動センター フェスティバル&菩提 フェスタ	■年1回実施（3月）

※ キャンプ教室は女性、親子向けです。一般向けは自主事業で実施します。

【体験プログラム事業】

事業名	実施回数・時期
お茶摘み体験&新茶の天ぷらを食べてみよう	■年1回実施（4月）
ネイチャーゲーム体験	■年2回実施（4月、11月）
八重桜でシロップをつくってみよう	■年1回実施（5月）

【体験プログラム事業 （続き）】

事業名	実施回数・時期
森林セラピー	■年4回実施（5月、7月、10月、3月）
自然遊び 自然を歩いてみよう	■年1回実施（7月）
秦野トレイルランクラブ	■年4回実施（6月、9月、12月、3月）
野草スペシャリストから学ぶ 食べられる野草探し	■年1回実施（6月）
苔玉をつくってみよう	■年1回実施（6月、8月）
森林セラピー&ヨガ	■年2回実施（9月、10月）
秋のハイキング	■年1回実施（10月、11月）
歴史・文化財散策	■年2回実施（12月、2月）
草木染めをやってみよう	■年1回実施（1月）
秦野産そば・うどん等料理体験	■年1回実施（3月）

【その他の指定管理業務】

HPのリニューアルを行い、発信する情報には楽しさを伝えられる事を重視し、興味を持てる情報を作成する。表丹沢一帯の案内業務、市及び表丹沢エリアで活動する民間事業者、各種団体等をメンバーとする表丹沢ツーリズム連絡会議業務を通して連携する方法を検討、実施していく。

4. 自主事業

表丹沢野外活動センターでの活動を通して、表丹沢魅力づくりビジョンの実現に貢献するため、イベント内容を精査し、「魅力ある自主事業の追加」、実施します。自主事業では、施設利用や他イベントと併せて行う事が出来るプログラムを充実させていきます。※検討、調整中プログラムは回数の記載をしておりません。年間実施回数12回を目標として進めます。

【森林遊び場の未活用地及び広場の活用促進に関する自主事業】

事業名	実施回数・時期
竹の工作（けん玉等）	■年4回実施（6月、7月、11月、2月）
ソロキャンプ場	■通年実施

【表丹沢全体の活性化に資する事業】

事業名	内容
ジビエ料理を食してみる	秦野市ジビエを利用しつつ、他食材ではヤマメやイワナ等も含める。
山の丹沢行動食作り	秦野市産ピーナッツを使用して、ナッツブラウニー、梅塩キャンディ、塩レモン等。（夏季の熱中症、脱水症状を考慮。）ハイキング等プラン併用可。
梅塩作り	秦野市産梅を使用。BBQ 調理の幅を広げられる。他イベント併用可。
丹沢芋煮を流行らせよう	秦野市食材十足柄牛を利用。他イベントと併用可。
日本酒はなぜ和食と会うのか実食	秦野市の蔵の酒を使用。他プログラムの“日本文化の（山、川）の生き物を食してみる”と併用可。

【施設利用促進、教室・教育事業等】

事業名	内容
火起こし体験と着火原理を知って料理しよう。	火溝式火起こし、きりもみ式、ファイアロールテルミット式、ファイヤーピストン発火器。着火後に飲食プログラムと併用可。
山と川の生き物を食し、日本食文化を知って見る	ジビエ系では野鳥、真鴨、熊、スッポン、ナマズ、アユ、天然キノコ等。仕入先調整中。
保存食を作ろう	サイトを使用した燻製、塩漬け、梅塩等。日本の以前からの保存方法を知る。
男飯で奥さんのおもてなし。	調理人と調整中。他イベントと併用可。
パラコードでアクセサリ作りとロープワーク。	アクセサリ、キャンプ場の過ごし方の一つとして。コードのロープワークを学び、緊急時の利用方法も学ぶ。
間伐材、自然物から火口を作る。	キャンプ時間の過ごし方の一つとして。火起こし体験と併用可。
丹沢和紙を作ろう。	秦野市産ミツマタの調達確認中。他プログラム草木染めと併用可。

※学校施設向け、製作物も検討しております。

5. 安全対策・危機管理

事故未然防止のため、以下の4種類の点検を体系的に実施するほか、職員による施設内巡回を実施します。

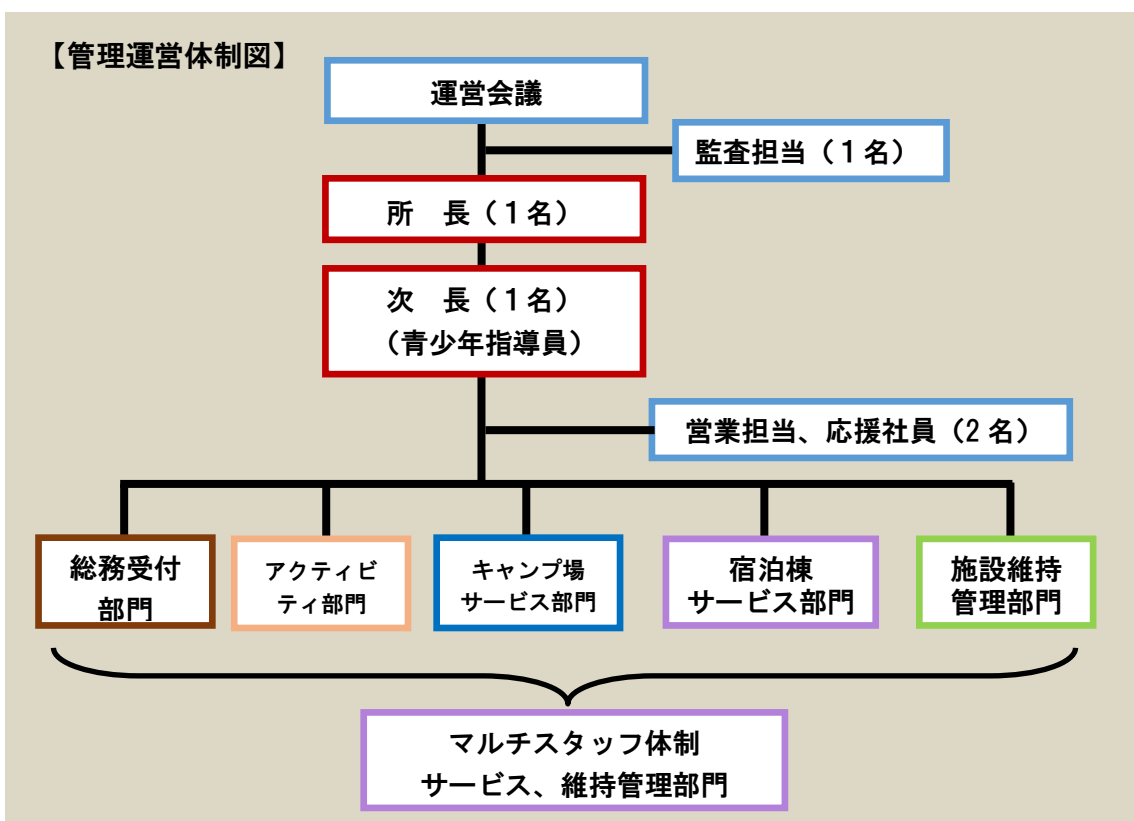
日常点検	職員が日常的に実施する点検
定期点検	法令、業務仕様書等に基づき定期的に実施する点検
臨時点検	災害（地震・台風など）発生後に施設の安全を確認する点検
緊急点検	他施設での事故発生時に、表丹沢野外活動センターにおいて、同様の事故発生の可能性がないかどうかを再確認するための点検

また、熱中症防止対策として、管理棟のクーリングシェルターとして機能を継続します。8月の地震、9月の大雨災害を受け、危機管理対策として、緊急対応マニュアルの再整備、防災訓練・AED講習の実施、AEDカードの（職員による）常時携帯等の措置を引き続き実施します。



6. 組織体制

表丹沢野外活動センター現場には、所長1名、次長1名、営業、応援社員2名をメインとする。サービス・維持管理部門はマルチスタッフ体制にて引き続き対応する。合計16名（社員4名、アルバイトスタッフ12名想定）



7. その他（広報活動・利用促進対策）

具体的な広報活動・利用促進対策として、HP のリニューアル、Instagram を活用した情報発信。ツーリズムを通じてお互いに協力できる施設との相互リーフレットの設置協力を行っていきます。他には周辺施設との協力が出来る事を模索していきます。

- HP からのイベント情報取得、参加申込みの利便性向上を行う。
- HP との Instagram の運用からアクセス解析を進める。
- 条件が限定される利用者（平日等）に対して、効果的な情報発信先の調査と発信の実施を図る。